



長産支第793号の2
令和8年10月7日

長岡商工会議所

会 頭 大 原 興 人 様

長 岡 市 長 磯 田 達 伸

長岡市政に対する要望について（回答）

日ごろから地域経済の発展と本市のまちづくりに御尽力いただくとともに、市政に対し格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

大原会頭から総合計画策定委員長として御尽力いただいた新たな総合計画「住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち ～イノベーション先進都市～」が本年度より始まりました。貴所から提言いただいた長岡産業ビジネス交流館構想の機能を実現するミライエ長岡が11月にフルオープンいたします。産学官金の連携がさらに深まり、企業間連携や人材育成による新たな挑戦と価値創造を生み出す拠点となるよう、ミライエ長岡を最大限に活用いただきたいと考えております。

御要望いただいた若者の地元定着と人材確保、観光振興、産業や市民生活を支えるインフラ整備につきましては、別紙のとおり回答いたします。いずれも長岡の持続的な発展に欠かすことのできない重要な課題であることから、今後も貴所との連携を一層深めながら取り組んでまいりますので、引き続き御協力をお願い申し上げます。

担当：長岡市 商工部 産業支援課
長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト
長岡市役所大手通庁舎6階
電話 0258-39-2222 / FAX 0258-36-7385
E-Mail syougyo@city.nagaoka.lg.jp

回 答 書

1 若者の地元定着促進と人材確保支援

貴所と合同で実施した人材不足に関するアンケート調査では、あらゆる業種で人材不足の現状が明らかとなりました。今後は、これまでのデジタル技術を活用した業務改革に加え、生成 A I や機械学習などの A I 技術を経営や判断プロセスに活用したビジネスモデルの変革（A X）の推進が企業の競争力維持・向上の鍵になるものと考えております。こうした状況を踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

（１）若者の結婚・定住促進

若者の地元定着を促進するため、令和 7 年度から始めた「奨学金返還支援制度」の活用促進をはじめ、引き続き婚活イベント等の開催を通じた若者同士の出会いの機会の創出、新潟県婚活マッチングシステムの活用促進、結婚新生活への経済的支援に取り組むとともに、結婚を希望する若者に必要な情報が届くよう情報発信の充実を図ってまいりますので、周知にご協力をお願いいたします。

（２）地元就職・U I ターンの推進

学生の A I を活用する就職活動に対応した市内企業の情報発信や学生と企業の交流について、産業ビジネス交流館に集積するハローワーク長岡等の支援機関と連携しながら取り組んでまいります。このほか、ミライエ長岡における人材育成事業や「こめぷら」を通じた市内企業の紹介、見学・職場体験等の機会の提供などを通じ、引き続き、企業情報の発信強化と地域企業への理解を促進してまいります。

（３）外国人材の受入れ環境の充実

外国人市民や企業の支援については、国際交流センター「地球広場」での相談員等による生活相談や「外国人材受入サポートセンター」での外国人雇用の相談対応を継続するとともに、多言語通訳コールセンターの活用、窓口に来れない場合のオンライン相談やニーズに応じたアウトリーチによる相談などを行いながら、引き続き、外国人市民が安心して、働き、暮らせる環境を整えてまいります。

2 地域の魅力発信と観光振興の推進

(1) 観光地域づくりの推進

交流人口、関係人口のさらなる拡大には、長岡花火だけでなく、摂田屋、山古志及び寺泊をはじめとする地域資源や歴史、食、自然などを面的に結び付けた通年型の観光地域づくりが重要であると認識しています。現在、観光地域づくりの核となる新たな組織の設立と観光戦略の策定を目指して、関係団体との検討を進めております。新たな組織においては、A Xの推進による、観光客の動向やニーズ、観光消費などのデータを収集・分析するとともに、その結果を観光施策や事業者の取組に生かす仕組みづくりを進めてまいります。

(2) 地域資源を活かした観光コンテンツの磨き上げ

通年観光の充実に向けては、長岡ならではの地域資源を分かりやすく打ち出し、他都市との差別化を図ることが重要であると考えており、現在策定を進めている観光戦略において、本市観光のコンセプトやターゲットを明確化してまいります。同戦略を踏まえ、既存の地域資源が持つストーリー性ある魅力の磨き上げを図るとともに、国の「地場産業成長プラン」に位置付けている旧機那サフラン酒製造本舗を核とした高付加価値な滞在型観光の推進に取り組んでまいります。今後も市内の観光コンテンツとしての可能性を有する資源について、関係者と連携しながら周遊性の向上や観光消費の拡大につながる活用方法、効果的な発信方法を検討してまいります。

(3) M I C E ・視察・研修受入れの強化

アオーレ長岡や米百俵プレイスは、長岡駅周辺の高い利便性を備えた交流拠点であり、各種大会、会議、イベントや視察の受入れによる来訪者の増加が期待されます。今後も関係団体と連携しながら、全国大会やコンベンション等の誘致活動を推進するとともに、米百俵プレイスのフルオープンを契機とした視察・研修受入れの充実を図ってまいります。また、来訪者の市内回遊や滞在時間の延長につながる取組を進め、地域経済への波及効果の向上を目指してまいります。

3 道路環境・交通インフラの整備促進と産業団地の確保

(1) 持続可能な雪対策の推進

本市において雪対策は、市民生活の安全・安心の確保はもとより、定住促進や地域経済活動を支える重要な都市基盤であると認識しています。また、除雪オペレーターの高齢化や担い手不足への対応は重要な課題であることから、除雪事業者との連携を図りながら、除雪技術の継承や人材育成、担い手確保に向けた取組を進めてまいります。

あわせて、歩道除雪や交差点部の堆雪対策、消雪施設の計画的な更新・整備を進めるとともに、道路利用状況や地域の実情を踏まえた効率的かつ効果的な雪対策を推進し、冬期間においても安全で安心して利用できる道路環境の確保に努めてまいります。

雪に強いまちづくりの実現に向けては、行政の取り組みに加えて、市民や事業者の皆様との連携・協力も重要と考えております。今後も、商工会議所をはじめ関係団体の皆様と課題を共有しながら、冬期の安全で円滑な交通環境の確保に取り組んでまいります。

(2) 公共交通の維持・確保

全国的にバス路線の維持が課題となる中、本市においても路線バスの減便が進行しており、通勤・通学や企業活動への影響が懸念されることから、公共交通の維持・確保は重要な課題であると認識しています。本市では、地域公共交通計画の改定を進める中で、市民や交通事業者等の意見を伺いながら、利便性が高く持続可能な公共交通のあり方について検討しています。また、運転士不足への対応として自動運転技術の活用に向けた検討を進めるとともに、自転車利用環境や交通安全対策についても関係機関と連携しながら取り組んでまいります。

(3) 産業用地の確保と企業立地の推進

本市では現在、中之島中央産業団地の整備を進めるとともに、民間活力を活用しスピード感を持った産業用地の開発を促進するため、地域未来投資促進法を活用した開発支援に取り組んでいます。

今後も企業の立地需要に対応した産業用地の確保に取り組み、企業が進出しやすい環境づくりを進めてまいります。